

## SOLEIL通信

August 2012

## Vol14. 残暑お見舞い申し上げます！



皆さま、残暑お見舞い申し上げます。

本日手元に届いた「日弁連新聞8月1日号」(日弁連新聞は、全国の弁護士に送付されています)によると、当事務所の弁護士が共同で執筆した「リーガルクリニック・ハンドブック」(株式会社ぎょうせい)(覚えていっちゃるでしょうか。前回のソレイユ通信VOL.13でお知らせしております)が、なんと、弁護士会館ブックセンターの2012年4月のブックセンターベストセラーにおいて、並みいる有名・著名な法律図書を退け、堂々の第5位に輝きました。本書は、初版が2000部だったのですが、2ヶ月間で2000部を完売し、すでに増刷がされています。

本書は、「初回相談を受任に結び付けるためのノウハウ&論点チェック」のための手引きとして、若手弁護士には、「受任につながる初回法律相談のツボ」、中堅・ベテラン弁護士には、「業務効率見直しのツボ」を紛争類型ごとに平易な言葉で書いています。

Amazonのブックレビューでは、「司法修習生や、弁護士になりたての新人にとっては、最適の教科書になると思います。きわめて実務的な本であり、午前中に熟読すれば、午後からの法律相談につかえる、というほどに実践的です。一般の個人さんとの法律相談で、よく遭遇する典型的な事例ごとに、きくべきポイントを具体的に書いてありますので、この本を読みながら法律相談をすれば、まったくの法律相談の初心者でも、一定レベルの回答ができてしまう、というすぐれた機能をもっています。」とおほめのお言葉を頂きました。私たちが、目指したところも、まさにこのブックレビューに書いて頂いたとおりですので、私たちの意図するところが、昨今の弁護士さんたちの共感を得たということだとうれしく思っています。

ところで、「弁護士会館ブックセンター」とは、東京・霞ヶ関にある弁護士会館地下の書店のことです。この会館には、東京弁護士会、東京第一弁護士会、東京第二弁護士会、日本弁護士連合会等が入居しています。したがって、一般の方々がこのビルに立ち入ることはほとんどないのですが、裁判や調停の後に、私とご一緒に、地下のレストランや喫茶店でお茶を頂いた依頼者の方々にはおなじみの建物ですね。余談ですが、レストラン「桂」のエイヒレは、お手頃価格で絶品です。皆さま、機会がありましたら、お試ください。右の写真の建物が弁護士会館です。

いずれにせよ、このビルに出入りする方々は、ほとんどが弁護士ですので、同書店も、法律書のみを扱う書店です。したがって、この書店のベストセラーは、弁護士業界におけるベストセラーというわけです。ちなみに、1位は「別冊ジュリストNo.209 特許判例百選」でした。

一般の方々からすれば、なんじゃこれ？と思うような「オタク」の世界かもしれませんね。

もうひとつ、うれしいことがありました。私の卒業した東北大学法学部名誉教授で最高裁判所裁判官であった藤田宇靖先生のご著書「最高裁回顧録—学者判事の七年半—」もベストテンにランクインされていたことです。こちらは、一般の書店でも目につくところに置かれていました。

まだまだ暑い日が続くようです。皆さまお体ご自愛ください。

